



子供たちと自然とのふれあい

— 「第16回 みんなで花を植えよう」の開催 —

定例となった地域交流イベント「みんなで花を植えよう！」が、昨年11月18日（土）道の駅庄和さくら公園（農村公園）で開催されました。

今回のイベント参加者は、社会福祉法人・子供の町の皆さんです。前日が雨で心配しておりましたが、当日は、雨も止み、花を植えるのに、とても良い天候になりました。

会員の皆さんが待ち受ける中、小学生、中学生、高校生18人が、職員の先生と、元気に挨拶しながら集まってくれました。子供達の賑やかな声、明るい声に対し、話しかけながら一緒にパンジー、葉牡丹を各180鉢植えることができました。

「貸してごらん、やってあげるから」、「〇〇ちゃん、この色きれいだよ」、「この場所に植えよう」、「隣と一緒に植えよう」、「私、お花植えるの、大好き」と、嬉しそうな一言を聞くこともできました。また、年上の子が、年下の子を手伝う、微笑ましい姿を見ることができました。



公園は寒い季節のため、訪れる人が少なく静かですが、時おり、散歩する人、ジョギングしている人たちの目にとまり、「きれいな公園」と、思ってもらえることを想像できることが、私たちボランティアの喜びに繋がると思います。

花を植えた後、「凧の会」の皆さんに、凧作りを教えて頂き、子供達の歓声と、それぞれの個性のある凧が、舞い上がったり、下がったりの風景が広がっていました。

庄和町の成り立ち

庄和町周辺地域は河川が多く、永沼、赤沼、飯沼などの地名にあるように、江戸時代中期に新田開発されるまで直径2~3キロメートルに及び大規模な沼地も多く、湿地帯であったため稲作に適しており、9世紀頃には荘園が発達し、11世紀の平安時代末期には下河辺荘が開墾される。

下河辺荘は茨城県古河市・五霞町・千葉県野田市・埼玉県加須市・久喜市・幸手市・杉戸町・春日部市・庄和町・松伏町・吉川市・三郷市にまたがる広大な荘園で、この地域の地名に使われる「庄内」は荘園の中であることを指している。また、庄和という町名は『庄内領』内の村々が一致和合して発展を図る、という考えに由来している。

17世紀に江戸幕府が成立すると、庄和町周辺地域は、江戸幕府の天領となる。武蔵国郡村誌によると、当時の庄和町を構成していた飯沼村、米島村、赤碓村、新宿新田などの村々は、御料所や旗本の管轄とされ、徳川家が直接、または直属の家臣により幕末まで支配したとされる。

大政奉還により江戸幕府が消滅し、徳川家の所有する天領は明治政府へ引き渡され、庄和町周辺地域は明治政府の管轄となる。廃藩置県や町村制の施行、周辺自治体の編入・合併を経て現在に至る。なお、この地域は江戸時代までは下総国葛飾郡に属していた。明治以降の変遷は次の通りである。



- 1871年（明治4年） - 千葉県域に属する。
- 1875年（明治8年） - 埼玉県域に転属する。
- 1889年（明治22年）4月1日 - 町村制施行に伴い、中葛飾郡の24の村および新田が合併し、**宝珠花村**・**富多村**・**南桜井村**・**川辺村**の4ヶ村となる。
- 1896年（明治29年）3月29日 - 中葛飾郡が廃止され、北葛飾郡に編入される。
- 1930年（昭和5年） - 総武鉄道（現在の東武野田線）永沼臨時停留所（現在の南桜井駅の前身）が開業する。
- 1954年（昭和29年）7月1日 - 宝珠花村・富多村・南桜井村・川辺村が合併し、北葛飾郡**庄和村**となる。
- 1960年（昭和35年）11月3日 - 北葛飾郡杉戸町のうち、**木崎**、**芦橋**、**倉常**が庄和村に編入される。
- 1964年（昭和39年）4月1日 - 町制施行により、北葛飾郡**庄和町**となる。
- 2005年（平成17年）10月1日 - 春日部市と合併し、新たな**春日部市**の一部となる。

（出典：ウィキペディア、春日部市郷土資料館）

周辺施設のご紹介 関東いすゞ自動車(株)春日部支店

年の瀬も押し迫った年末に快く取材に応じていただきました。今回は、関東いすゞ(株)春日部支店ご紹介いたします。本社は、群馬県高崎市にあり創業78年になる会社の春日部支店で、この上柳の地に根づいて50年位になる会社です。主に車両販売、部品、サービス、保険の業務をされています。とりわけ顧客の需要に合わせた仕様の販売で、納車時に、「期待以上の車種でした。」と感謝の言葉をいただいた時に、仕事のやりがいを感じる瞬間とのことです。



物流業の働き方改革として、労働時間の短縮問題あげられます。対応として、普通免許でも運転できる小型トラックの販売に力を入れており、トラック運転手の増員になることを期待しているとのことでした。東埼玉道路の八潮インターから、国道4号と国道6号の立体交差点庄和インターまでの接続工事が進行中であり、また圏央道幸手インターができたことにより、高速道路へのアクセスが容易になりました。このため、物流倉庫が多く建設され、トラックの交通量が、増々多くなっています。この日も、他県ナンバーのトラックなどが構内に整然と列と並んでいました。庄和道の駅さくら公園そばの関東いすゞ自動車(株)春日部支店様でした。



話の種子 <第九話>

「ワルナスビ」

雑草とは、水田や畑地に勝手に生え、庭や公園などにもはびこり、私達の生活環境に邪魔になる植物を勝手に雑草と理解したい。一言に雑草と称しても、まさに多種多様である。簡単に処理できるものから如何とも手強い難物とがある。今回は後者の一つを紹介する。

その名は頭からワル(悪)と極悪な名前を付けられた“ワルナスビ”だ。この草は北アメリカ原産の多年草で、明治末期に牧草に混じって千葉県のある畜産地に侵入し害草化した帰化植物だ。そのワルナスビを南桜井駅東口道路端で発見した。こんな処までと驚いた。小型草とはいえ地下茎は土中深く伸びていて茎は屈曲しながら直立し、葉は茄子の葉に似るが、縁は波状に深く切れ込む。この若い茎や葉身は微毛が密生し鋭い棘が多く発生している。素手で触ると手に傷を負ってしまう用心が必要だ。花期には数個から10個の花を着ける。白色又は淡紫色の花は茄子の花によく似ている。果実は球形で熟すと黄色くなり内には多数の種子がある。ワルナスビの地下茎は土中深く広く伸びていて、切断されても再発生するので、いったん畑地に侵入すると、農耕機の耕耘などによって茎が切断されても、散らばってさらに広がり根絶は難しい。発見したら、鋭いトゲ防止を用意した上で、地下茎も含め完全に抜き取り根絶して欲しい雑草だ。

(小澤啓男)



会員の紹介

「一歩踏み出す勇気」

会員 小川 直美

駅の掲示板に貼られた「ボランティア会員募集」のポスターが目にとまり、ずっと気になっていましたが、行動に移せずにいました。ある日ポスターがなくなっていて、早く応募しておけばよかったと後悔していました。再びポスターが貼られたときは、嬉しくて直ぐに入会させていただきました。

「NPO 法人 庄和ふる里を守る会」に入会後は、公園の清掃や夏祭りのイベントに参加させて頂き楽しく活動しています。あの時一歩踏み出したことで、私の環境が大きく変わり楽しい事が増えました。新しいことにチャレンジしたいけど、少し怖いなど迷った時は、未来はきっと楽しくなると信じて、一歩踏み出す勇気を持ち続けていきたいと思っています。

ご支援を頂いている 団体賛助会員様

* 受付登録順

庄和商工会

(株) 道の駅庄和

(株) 桐の樹環境

金崎区 (自治会)

(有) 庄和商事

関東いすゞ自動車(株) 春日部支店

庄和中央病院

埼玉みずほ農協 庄和中央支店

小笠原医院

上柳区 (自治会)

東武スポーツクラブみなみさくらい

○ 個人会員 (2月1日 現在) 正会員 83名 賛助会員 97名

「NPO法人庄和ふる里を守る会」からの報告

- ① 当会の前身、「美しいふる里を守る会」を立ち上げたメンバーの母体となる市民大学が創立20周年を迎えました。その「記念の集い」開催(3月23日)の後援として当会も参加しています。
- ② 昨年の5月に新型コロナによる規制が緩和されて、通常の生活に戻りつつあります。当会の活動も、定期活動に加えて、各種行事の運営協力を行っています。今後も、運営協力を行いますので、活動に興味を持たれた方は気軽に、活動に参加いただければと思います。



【編集／発行】

NPO法人庄和ふる里を守る会 「ふる里庄和」編集委員会
〒344-0121 春日部市上柳183
(TEL) 090-7903-3971